

期日 平成23年12月19日(月)
午前10時～午前11時48分
場所 花巻市文化会館 第2会議室

平成23年度第2回花巻市文化会館運営審議会会議録

出席委員 多田貢会長、千葉恵子副会長、佐藤俊穂委員、萩川りみ子委員、須藤功委員、菅原善浩委員、高橋和子委員、菊池房江委員、佐々木和久委員
(欠席通告委員 猿舘祐子委員)

出席職員 菊池保守まちづくり部長、平野信孝館長、菊池美典副館長、佐藤利明副主幹、渡辺哲也上席主査、三又雅文主査

1 開会 10:01

菊池副館長が、出席委員が過半数であり会議が成立することを告げ開会。
(開会時、10名中7名の委員出席)

2 挨拶(多田貢会長)

本年度2回目の審議会で、来年度24年度の文化会館の運営に関する事項を審議するものであり、来年1年間の文化会館の運営について、私たちの審議が反映されるような建設的な審議をお願いします。

【諮問】

(菊池まちづくり部長が諮問書を読み上げ、多田会長に手渡す。)
(佐々木委員と萩川委員が到着し着席する。)
(以下、多田会長が進行)

3 報告

平成23年度花巻市文化会館の上半期の運営状況について
(三又主査が資料1ページ、2ページにより説明。)

【質疑応答・意見等】

- (1) 自主事業のうち中ホールで開催した事業の有無
- (2) 鑑賞料金を安くして鑑賞者を増やす取り組みの検討
- (3) 各種組織、団体、法人に対する共催の依頼、割り当てなどの検討
- (4) 館の自主事業と他のイベントとの日程重複の事前調整の取り組み
- (5) 使い勝手の悪い中ホール、展示ホールの改善、使用料の見直しの検討

4 審議

- (1) 諮問第2号 平成24年度花巻市文化会館の運営方針について
(館長が資料3ページにより説明。)

【質疑応答事項】

質問（多田会長）これからはプロパーの職員を育てる考えはないのか。

回答（部長、館長）市の定員削減方針や指定管理の流れの中で困難である。

質問（千葉委員）ホール運営業務を委託した場合、業者は必要な時だけ来るのか。

回答（館長）常駐であり、毎日来る。

質問（須藤委員）委託でも直営でも良いが、使用料を安くできないか。

回答（部長）受益と負担の原則に照らして見直しは可能である。

質問（多田会長）委託する場合はそれなりの技術、知識、施行能力がある業者を選定する必要があるが大丈夫か。

回答（館長）しっかりした基準を設け間違いのない選定を心掛ける。

質問（須藤委員）会館の備品を使用する場合、業者の備品は別料金ということがあるのか。

回答（館長）そういうトラブルが起きないように契約の中で明らかにする。

意見（千葉委員、高橋委員、菊池委員）前回の会議のとき見学したが、見えないところが結構老朽化している。周辺には最新の会館がいっぱいあり比較するとちょっと古臭い。改修を意識して検討を進める時期と思う。

意見（多田会長）古いだけでなくバリアフリーになっていない。これからは花巻にどういうホールが必要なのかということを考えなくてはいけない。

意見（菊池委員）文化会館の位置付けをみんなで考えながら、今から着手して計画を立ててほしい。

質問（嵯川委員）会館は、祝日の翌日は休館で、例えばクリスマス（イヴ）の日は休館となる。子供たちにクリスマスのイメージを与えたいということもあり、見直しできないか。さくらホールに行ったが、ツリーを飾ったり活気があった。

回答（館長）休館日は条例で決まっている。前回、須藤委員から意見のあった8時30分からの使用についても、そういう要望が多くなれば、条例を見直して対応する。

意見（菅原委員）会議室やほかの施設の稼働率を上げる工夫も具体的に示してほしい。

意見（多田会長）今回の諮問は運営の一部見直しであるが、ホールサービスの一層の向上、会館利用率の向上、入場者数の増加ということが目的になっている。これを機に施設の在り方というものを検討するとして、具体的にどう検討するのか、市民の要望意見をどのように参考にするのか、具体的な方法、手順を示して進めてほしい。

次の諮問事項を議題とする。

- (2) 諮問第3号 平成24年度花巻市文化会館の自主事業計画について
(佐藤副主幹が資料4ページにより説明。)

【質疑応答事項】

質問（高橋委員）中島啓江の事業は、子供料金を設定するのか。

回答（佐藤副主幹）資料では大人料金だけ記載したが、親子鑑賞を基本としているので、子供は半額程度に設定する予定である。

質問（多田会長）倉沢人形歌舞伎は、大ホールでやるのか。

回答（佐藤副主幹）大ホールで実施する。鑑賞規模としては中ホールが適しているが、春に下見の結果、中ホールでは舞台の奥行きがなく大ホールとなった。大ホールの中央部分を仕切って、席を限定して実施する。

意見（高橋委員）これまで自分が好きなもの以外はあまり関心がなかったが、これだけ市の予算をかけているのだから、これからは足を運びたい。声がけ、PRが大事と思う。

質問（千葉委員）24年度の事業はバラエティに富んでいて良い。陸上自衛隊の公演は無料だが、何か理由があるのか。

回答（佐藤副主幹）陸上自衛隊の広報活動の一環として行われるものであり、各地域で無料で実施している。大変好評で、入場整理券は1、2時間で品切れとなるので、整理券の配り方を検討したい。

質問（佐藤委員）花巻市以外に対するPRの方法はどうしているか。

回答（佐藤副主幹）新聞への広告掲載、テレビCM、FM岩手、FM花巻などのメディアを活用している。また、新聞のニュース記事として取り上げてもらったり、タウン誌に掲載してもらうなど予算のかからない方法でもやっている。そのほか、県内外の類似施設や公共施設などにポスター・チラシの配布をやっている。

意見（多田会長）よほど努力しないと、この入場者見込み数を確保するのは難しい。ある市町村ではシャトルバスを運行している会館がある。花巻に合うかどうか、毎回するのかどうかなど課題はあるが検討してはどうか。

意見（須藤委員）シャトルバスも善し悪しの面がある。年配向けの事業のときはある程度利用するが、若者向けの事業ではほとんど利用しない。この内容（事業計画）でバスを出すのはどうかと思う。足の確保が必要な題材（事業）であれば出すのも良い。実際、踊りの場合年配が多いが、バスではなくほとんど家族が送り迎えしている。

意見（多田会長）「来てください」ではなく「迎えに行きます」というスタンスを示すことにもなる。

意見（菊池委員）家族に迷惑がかからない、駐車場の心配がいらぬなど良い点がある。本当に人を集めたいときはバスを出したり、ここにいる運営委員に声をかけたりしてほしい。また、関係団体や会社等に共催や後援をお願いし協力してもらってはどうか。

質問（須藤委員）自主事業の際、いろいろスタッフが必要と思うが、職員だけで対応しているのか。

回答（佐藤副主幹）職員は全員で対応、その他モギリ、場内整理、誘導案内などアルバイトをお願いして対応している。文化会館のフロントスタッフとして事前に講習を受け、登録した人たちである。

【諮問事項に対する意見の集約】

多田会長 諮問第2号、第3号と審議したが、その内容はサービスの向上、会館利用率の向上、鑑賞者数の増加を目指すものであり、また、施設の在り方についても検討が必要な時期になっていること、自主事業に関して異論がないことから、下記意見を付し原案を了として答申する。

- ①施設の在り方を検討するにあたって、市民や利用者の声を反映させる場の設定を検討すること。
- ②自主事業の鑑賞者を増やすため、幅広い協力、支援の要請を検討すること。

- 5 その他 前回の審議会で出された意見等に係る検討状況について
(第1回運営審議会が出された参考意見について、菊池副館長が検討結果を口頭で説明・報告。)

- 6 閉会 11:48
菊池副館長が閉会を告げる。